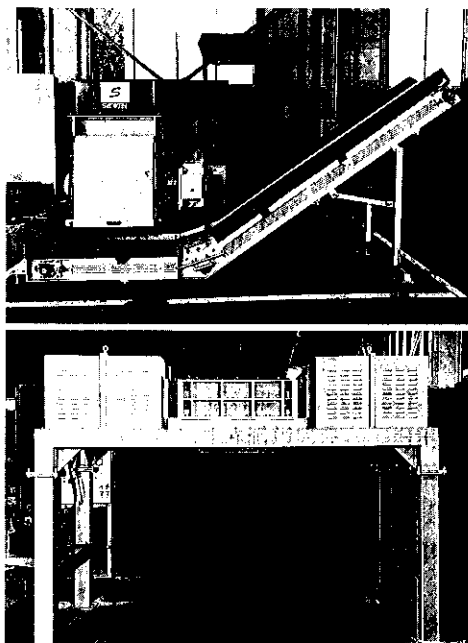


1軸・2軸破碎の追加導入と石綿産廃積保

◎(株)カワサキ環境

建設系産業廃棄物の収集運搬・中間処理事業を主に展開する(株)カワサキ環境(長野市信更町桜井683、川崎秀樹代表取締役、☎026-290-3210)は『プッシャー式1軸破碎機DS4080』および『2軸破碎機TS2180P』を新たに導入した。破碎機メーカーは商研(株)(広島市)。今回の追加導入で破碎処理能力は96%増加。既存の4軸破碎機および回転式破碎機と合わせて4種類の破碎機を稼働することとなり、様々な廃棄物の最適な処理・再資源化が可能になる。リサイクル率の向上と最終処分場への負荷低減を図る。

同社は首都圏を中心に建設系産業廃棄物の収集運搬とコンサルティングを手掛ける(株)カワサキ商会(千葉県市川市)のグループとして、2017年に長野市郊外で産業廃棄物中間処理事業を開始した。約7100m²の敷地に建設された延床面積約3000m²の建屋内に破碎、選別、圧縮・結束などの機器装置と約4200m³の保管ヤードを設けた完全屋内型施設だ。処理能力は264.2t/日、処理品目は、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、がれき類の7品目となっている。選別ラインは全長80mで、トロンメル、風力選別機、手選別コンベヤ、磁選機などで構成し、高い選別・リサイクルシステムを構築している。また、同社敷地内に積替え保管施設も新設。今後、発生の増加が見込まれる石綿含有産業廃棄物および水銀使用製品産業廃棄物等の積替え保管も可能になった。中間処理品目だけでなく、積替え保管の新設で取扱品目が増え、建設、解体工事業者等の幅広いニーズに対応する。



①1軸破碎機 ②2軸破碎機

処理能力の増加に伴い、今後は同業他社からの産業廃棄物の受け入れも行う。自社の強みを共有し積極的な情報交換、協業も視野に相乗効果を図る。施設は上信越自動車道更埴インターから13.5kmに位置し、関東、甲信越、北陸、東海からのアクセスが可能だ。各地の最終処分場等とのハブとして役割を担える。川崎代表は「カワサキ環境がスタートして5年目となる。事業計画は概ね当初の予定どおり推移しているが、一般的な原油高騰、インフレ、新型コロナウイルス感染症等で経済は厳しい状況下にある。弊社としては適宜、積極的な設備拡充、人材確保、営業強化およびコスト削減を図り、排出事業者へ安定したサービスを提供し、静脈産業の効率化、最適化の一翼を担っていきたい」と語っている。

私たちは 自然に恩返しをするため リサイクル事業に 懸命にとりこんでいます。
未来の子供たちへ つなげたい

北関東環境開発株式会社
KITAKANTO

〒329-2746 栃木県那須塩原市四区町 696 番地 電話 0287-37-7044 FAX0287-36-8780 <https://www.kitakanto-kk.o.jp>

未来のために、地球のために。地球にやさしい循環型社会を目指して。
SAVE THE EARTH Kawasaki

破碎 **選別** **圧縮** **運搬**

静脈産業の最適化に貢献 カワサキ商会グループ

KEC 株式会社カワサキ環境

〒381-2343 長野県長野市信更町桜井683番地
TEL.026-290-3210 FAX.026-290-4030

建設系産業廃棄物中間処理施設
選別・破碎・圧縮結束
敷地面積 約7,100㎡ 延べ床面積 約3,000㎡
処理能力 264.2t/日 保管ヤード 約4,200㎡

産業廃棄物処分量 産業廃棄物収集運搬 (積替え保管あり) 環境・廃棄物コンサルティング <https://www.kawasaki-corp.jp/>